

私たちが守り継ぎます！

能代の誇り 民俗芸能

市内各地に伝わる番楽やささら踊りといった民俗芸能。その歴史と技を守ろうと、たくさんの子どもたちが練習し文化祭などで披露しています。この時期恒例の子ども民俗芸能発表会は、今年も中止に。そこで今回は、毎年参加していた5団体を紙上で紹介します。地域の伝統を守り継ぐ子どもたちの勇姿をご覧ください。そして発表の場が戻ってきたらぜひ間近でお楽しみください。



勇壮に舞う



鯀淵番楽

鯀淵地域に伝承される番楽です。毎年8月13日の夜、鯀淵神明社で奉納の舞が行われます。荒面や翁など8演目があり、全てお面を着けて舞います。勇壮な

今年の伝統芸能ミニ発表会では4人が鯀淵番楽を披露しました

舞が多く、女舞はありません。能代東中で伝承活動が行われています。鯀淵番楽のほか常州下御供佐々楽、檜山舞、鶴形ささらを生徒の有志が練習。9月の文化祭の「伝統芸能ミニ発表会」で披露しています。

昨年は檜山舞に挑戦し、今年は挑戦したことがないものやってみようと思って鯀淵番楽を選択しました。教わったのは荒面。武士のような男性らしい舞が特徴なので、扇や刀を使い大きく舞うのが難しかったです。地元の人にもっと知ってほしいので発表の場が増えるとうれしいです。



能代東中3年 伊藤莉李さん



こどもものしろ

【広報のしろ 特別編集】お子さんと一緒にご覧ください

『こどもものしろ』は能代の未来を切り開く子どもたちに向けた広報です。もっと、ずっと、能代を愛して欲しいから、能代の色んなことをお知らせしていきます。